

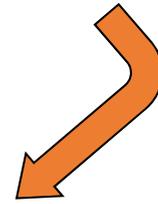
○ 現状と課題

- ・地域の保全活動の担い手不足
- ・企業等の保全活動団体の増加



○ 基本方針

地域住民の意思を尊重しつつ、事業者やボランティア等との関わりによる取組を広げる



○ 取組(案)

ヨシ群落に関する情報を整理して発信する
ヨシ群落カルテ(仮称)

1

ヨシ群落カルテ(仮称)について

各ヨシ群落の情報(位置、状態、生息する生物、保全活動の状況等)を整理



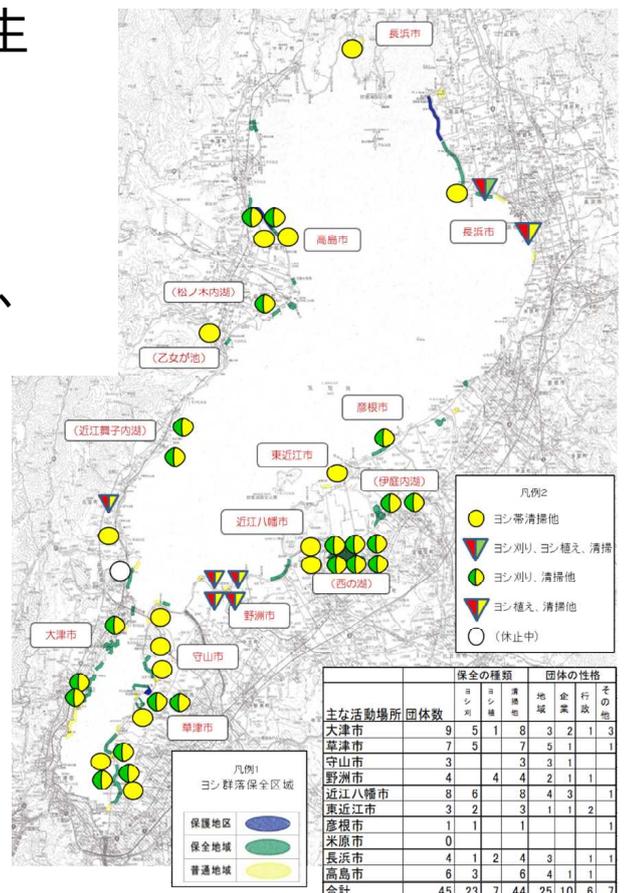
地域が「他所の人」も保全活動に参加することを望むか、駐車場やトイレの有無など、「他所の人」である事業者等が保全活動を行う場合に必要な情報を整理



整理した情報を発信し、事業者等と地域のマッチングを促進

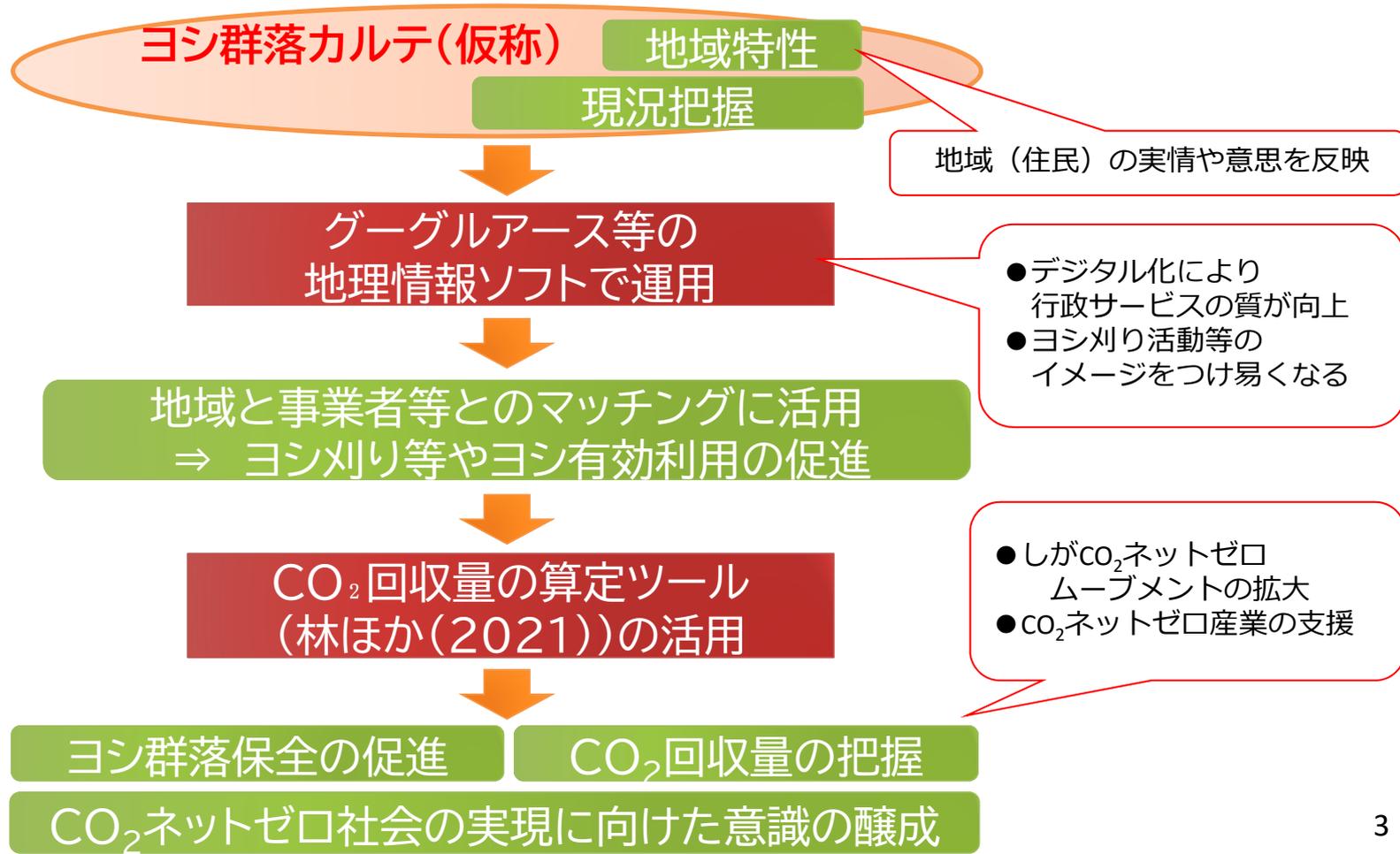


維持管理活動(ヨシの刈り取り・火入れ)



ヨシ群落保全活動団体(平成29年度調査) 2

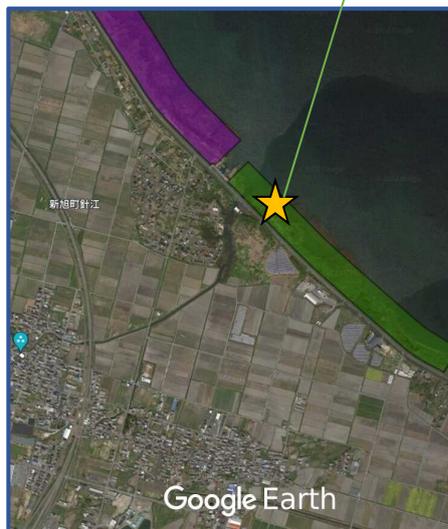
ヨシ群落カルテ(仮称)のイメージ(案)



3

ヨシ群落カルテ(仮称)のイメージ(案)

カルテ番号	1052	更新日	R5.10.1		
所在地	●●市■	条例における指定区分	保全地域	土地区分	河川区域 私有地
群落の状態	調査日	令和4年8月30日			
	健全性	B	地盤の低い場所や水面ではヨシが比較的良好に保たれているが、地盤の高い場所では陸生植物が優勢となり、ヨシの衰退が見られる群落		
	生息する生き物	カイツブリ、カヤネズミ、ニゴロブナ 他			
	調査結果	定期的なヨシ刈りにより、比較的良好にヨシ群落が維持されている。しかしながら、当該地は河口付近で土砂の供給が一定見込まれるため陸化し易く、維持管理を継続しなければ早期に植生遷移が起これと考えられる。また、それに伴ってヨシ原に営巣する希少鳥類が見られなくなる恐れもある。			
地域活動	地域団体	●●●のヨシ群落を守る会	協力企業等	株式会社●●●	
	活動状況	ヨシ群落を3分割してローテーションを組み、毎年1月ごろにヨシ刈りおよび火入れを実施。			
	地域の思い等	かつては近隣の住民が生活のためにヨシを刈り取ってきたが、近年は生活様式の変化により人の手が入らなくなった。ヨシ群落の荒廃を防ぎ湖国の原風景を保全するために、団体を組織して手入れを続けている。			
	地域の課題	高齢化で重労働が難しくなっており、新たな参加者の確保が課題となっている。			
	求められる活動	ヨシ刈り、除草、ヤナギ伐採、ゴミ清掃、自然観察、ヨシ植え、その他()			
活動条件	隣接施設	●●公園	管理者	■市●●課	
	普通車駐車場	30台	大型バス駐車	可	管理者 滋賀県●●課
	トイレ	有	管理者	滋賀県●●課	
	関係法令	河川法、自然公園法、滋賀県琵琶湖のヨシ群落の保全に関する条例			
	CO ₂ 回収量	(ヨシの平均高さ)	270cm-289cm	9.57 ton-CO ₂ /ha	



4